



# 青少協だより

明るく伸ばそう むつあいの芽 第82号

2024年（令和6年）3月1日発行

六会地区青少年育成協力会



## じゃがいも掘り

2023年（令和5年）6月24日（土）

参加人数 26名

梅雨晴れの中、今年も長嶋さんの畑にてじゃがいも掘りが開催されました。コロナ禍も落ち着いてきたということで、今年は昨年より定員を増やし26名の子ども達が参加してくれました。

畑に着いて、長嶋さんの説明を聞きながらも畑をチラチラと見ては早くじゃがいも掘りをしたい！という様子の子も達。

掘り始めると、「見てみて〜」「おっきいの獲れたよ！」と嬉しそうにじゃがいもを見せてくれました。

じゃがいもがすべて掘り終わってからも、しばらく土を掘り返したり虫を捕まえて遊んでいる子もいて、みんな顔も服も真っ黒になって帰っていきました。



## 参加者の感想

- ☺ とれてうれしかった。たからさがしみたいたなとおもった。（小1）
- ☺ たのしかったから、まだまだいっぱいたくさんとりたかったです。おうちにかえたらいっぱいおいしくたべます。（小2）
- ☺ 大きいじゃがいもがたくさんとれてびっくりしました。（小3）
- ☺ とてもうれしくて、のうかの人のことがよくわかりました。じゃがいもで、色いろなものをつくります。（小4）
- ☺ じゃがいもが土からごろごろ出てきてたのしかった。ありがとうございました。（小5）
- ☺ ぼくは最初虫がいやだと言っていましたがじゃがいもを掘っていると虫よりじゃがいも掘りに集中していて虫にほとんど気がつかずいっぱい掘れました。楽しかったです。（小6）

# 六陵祭に掲示物を出展しました

掲示期間 2023年（令和5年）9月19日（火）～ 9月29日（金） 六会中学校



今年度の六会中学校六陵祭文化部門に、青少協の活動を紹介します。掲示物を出展しました。

活動の中の一つとして、継続して実施している愛のパトロールの様子を紹介させていただきます。

多くの生徒に見てもらうことができ、普段の活動を知っていただくいい機会となりました。

※ こちらの掲示物と、六会公民館ふるさとまつりで展示したパネルは同一のものです。

## 第44回 六会公民館ふるさとまつりに参加

2023年（令和5年）10月14日（土）・15日（日） 六会公民館

4年ぶりに制限なしで開催となった六会公民館ふるさとまつりに、模擬店で綿菓子、催し物ではストラックアウト体験で参加しました。

模擬店は、たくさんの来場者で賑わいを見せてアフターコロナを実感しました。また、4年ぶりに綿菓子を出店ということで、たくさんのお客さんが長い列を作って、綿菓子ができるのを待ってくださって大盛況でした。

15日午前のストラックアウト体験は、昨年に続き盛況で、「楽しかった」「もう1回やりたい」という感想でした。当日の来場者の皆さんからも、年齢性別問わず、多くの方々の笑顔に出会うことができました。

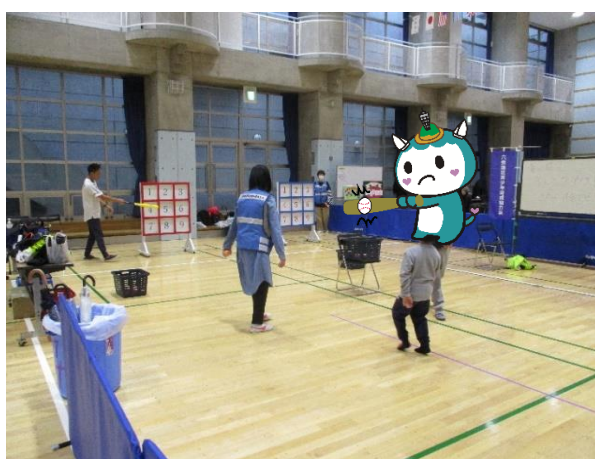
2日目は雨で開催できるかどうか心配でしたが、天気も回復して、無事に綿菓子が作れてほっとしました。



綿菓子



ストラックアウト



## 研 修 会

2023年（令和5年）11月8日（水） 六会市民センター 3階ホール

「子どもが心を開くとき～『信頼』を育む関わり方～」

講師：増淵広美氏 青少年と家族の未来研究所代表

取り組みとして2つの軸があり、1つは“子どもと家族の成長をサポート”、2つ目は“子ども達が大人になった時のより良い親子関係づくりの連鎖をつくりたい”と

中高生のお母さんを対象とする中高世代の子育て支援、という事で、目の前の「困った」をきっかけにより豊かな親子関係に向けてサポートされているお話を伺いました。

発達段階ごとの特徴と重視すべき課題で、大人の言っている矛盾に気が付き、人と比べはじめ不安を感じ、脳の成長途中という段階にもある子ども達。その時期、成長と同時に学ぶ必要があるとのことでした。

声をかけることは、気にかけてもらっていると感じ、大人は「認める」ことを意識すると言葉が変わってくるそうです。嫌な事から身を守ることは人間の本能で、関わり方で大切な事は、



①相手を変えようとしな

②心を込めて聴く

③言葉と心が一致している

そして、心を開くときそこには「信頼」があると学びました。

心に届きやすい言葉に変換する、ポジティブに変える事（ペップトーク）によって理解が深まるそうです。悪循環になっていたら、関わりを変えてみる。そんなことを知っているという事は、そこに（もとの）戻れるし、それが学びだという事を学びました。

お母さんの語り場『思春期子育てカフェ』などもされていらっしゃるそうですので、ご興味のある方はぜひ行かれてみてはいかがでしょうか。

## 視 察 研 修 会

2023年（令和5年）12月6日（水） 横浜少年鑑別所

2022年度に続きお天気に恵まれた視察研修の日、太陽の光が降り注ぐ中、現地まではバスで向かいました。

現地に到着すると、まず最初に鑑別所についての説明研修を受けました。鑑別所とは、20歳までの少年・少女が審判を待っている場所、大人の拘置所に匹敵されるということです。鑑別所の中は、肅々とした雰囲気がありましたが、私たちにわかりやすいように〇×クイズなど和やかな雰囲気の中、研修を進めてくださいました。

次に、鑑別所内を見学させていただきました。寮や運動場や配膳室など日常生活が行われる場所や裁判が行われる部屋、面会室などをまわりました。少年少女が健康を維持できるように、野外活動や食事もそれぞれ必要なカロリー計算され提供されていました。

近年、男子では特殊詐欺、女子はけんかが原因で、収容されることが多いそうです。

神奈川県内は非行少年が減っているということですが、社会の変化で孤立することがないように、子ども達の安全、健やかな成長を見守っていくために、大人ができることは何か、考えるきっかけとなりました。

今回の研修では、少年犯罪を知るきっかけになったとともに、親である私たちや、地域が一丸となり、子ども達を見守っているのだということを伝え、もっと発信していかなければならないと感じた、学びある研修となりました。



## 夏の愛のパトロール

六合小学校	2023年（令和5年）7月25日（火）
亀井野小学校	7月27日（木）
天神小学校	7月10日（月）
石川小学校	7月31日（月）
俣野小学校	7月27日（木）
六合日大前駅東口	8月18日（金）



愛のパトロールは、補導が目的ではなく、子ども達の通学路や遊んでいる場所を知ってもらうためのものです。

今回、亀井野小学校では、交通安全や防犯を意識した地域の見守り、また、AEDの設置場所や備蓄倉庫の場所など、防災も意識したパトロールを行いました。

その他では“公園のベンチの釘が出ている”“道路標識の文字が薄くなっている”等、そこで生活していると見慣れてしまい、気にとめなかったことも、皆でパトロールし確認することによって、たくさんの気づきがありました。

夏の暑さをものともせず、元気に遊ぶ子ども達の声と、パトロールをしていると声を掛けてくださる地域の皆様にパワーをもらい、有意義なパトロールとなりました。



## 冬の愛のパトロール

六合小学校	2023年（令和5年）12月12日（火）
亀井野小学校	12月 5日（火）
天神小学校	12月13日（水）
石川小学校	12月 6日（水）
俣野小学校	12月14日（木）

冬は日が沈むのが早く、パトロールを開始する時は明るくても終わる頃には真っ暗になります。反射板のついた青少年育成協会の青いベストを着用し、カバンなどの持ち物にも反射板を付け、ライトを持ってパトロールをしました。

学校周辺や歩道橋などに加え、人通りの少ない道や危険箇所などのパトロールもしました。通学路の路面表示やグリーンベルトが薄くなっているところもあり、パトロールで子ども達の目線に立って歩くことにより気付けることもありました。

今回のパトロールでは学校の先生もパトロールに参加して下さった地区があり、公園で遊んでいた子ども達が声をかけてくれる和やかな場面もありました。

また、先生と一緒にパトロールをし、情報を共有できたことは、子ども達を見守る上でとても大切だと感じました。



お知らせ

青少協では、ストラックアウト、モルック、缶バッジマシン、綿菓子機などの用具の貸し出しを行っております。  
詳しくは、六合市民センター 地域づくり担当（81-6677）までお問い合わせください。